2025年度

地球温暖化対策報告書等作成マニュアル

横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課(計画書制度担当)

はじめに

- このスライドでは、地球温暖化対策実施状況報告書(報告書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。
- ・報告書の提出は、条例[※]に定められた義務です。期日(7月 末)までの作成、提出をお願いいたします。

※:横浜市生活環境の保全等に関する条例



■提出様式(「2025hokoku_youshiki.xlsx」)

エクセルファイルのシートの内容が主に2つに分かれています



計画書の作成について(計画期間2025~2027年度) 2025年4月1日の制度改定に伴い、2025年度につきましては、すべての事業者様に計画書を作成いただく 必要がございます。 計画書の作成につきましては、計画書等作成マニュアル(別掲載)にてご案内します。

手順1:提出様式をダウンロードし、各シートへ記入



※提出書は自動生成するため入力不要です。

記入済みのExcelを 横浜市電子申請・届出 システムで提出

各様式の記入方法は次ページ以降で説明いたします。

■様式への入力ルール(セルの色分け)

(黄色) 記入してください

_____(白色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) セルに保護をかけているため書き換えはできません

_____(緑色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) 変更がある場合は上書き修正してください

(灰色) 記入対象外です



■各シートの説明

シート名	シートの概要	入力対象事業者
はじめに	事業者IDを入れ、過年度提出データを様式に表示させます	1.2号 3号
使用量_1,2	エネルギー使用量を入力して、CO2排出量を算定します	1.2号
使用量_3	車両台数の燃料使用量等を入力して、CO2排出量を算定します	3号
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)	1.2号 3号
外部供給	<u>他者へのエネルギー供給が有る場合のみ</u> 入力が必要です	1.2号
係数	<u>燃料などの排出係数等を変更する場合のみ</u> 使用します	1.2号



■昨年度情報の呼び出し『はじめに』シート





- ① 黄色セルに事業者ID下3桁を 入力してください。
- 昨年度報告データが報告書に 表示され、記載が不要なセル はグレー表示されます。
- 事業者IDは右下のリストから 選択して下さい。
- 新規事業者は空欄にして下さい。
- ② 過去データの修正有無
- 修正が必要な場合「修正が あります」を選択して下さい。
 作業を中断し市に連絡願います。
- ③ 事業者の状況変更
- 名称等に変更があれば新名称等 を記入願います。
 - 7



■基礎情報の入力 『使用量_1,2』シート





- 他者へのエネルギー供給がある場合は 「有り」を選んでください。
- ・「有り」の場合は『外部供給』シートも入力 してください。
- ② 事業所数は、昨年度情報が自動表示されます。変更がある場合は上書きしてください。
- ③ **原単位の設定有無を選択してください。** ・設定ありの場合、指標は提出済みの計画書と 同じとしてください。





■エネルギー使用量の入力『使用量_1,2』シート

A	в	С	D	E	F	(G	н	I	J		к	L	м	N	0	
26	2]	Cネルギ·	-使用量														
29								横浜市内 合計	(*	原油換算 エネル (雑数の原	[500kl 未満 レギー使用 通位を使用		県/田揆昇 ▲ 工場				
30												単位の種	類別に列を				
31			エネリ	レギーの	種類			-	単位	↓自動計算	<u> </u>	-一便用重	合計を入り	10 (1/2809)	示 / +++ -	EDUOKT I	
32		原油(コンき	デンセートを	<u> 徐く。)</u>	100				k∟	_ 6			(al				
33		原油のうち			кL	(2											
34		揮発油(ガ	ソリン)						КL								
35		ナフサ							k∟	0					-		
36		灯油							k∟	50		50					
37		軽油							k∟	514					514		
38		A重油							k∟	623				_		623	
39		B·C重油							KL	0					-		
40		石油アスフ	アルト						t	0				_	_		
41		石油コーク	<u>Z</u>						t	0				<u>_</u>	_		4 1
42		石油ガス	液化石油力		i)				t	12		12					
43			石油糸炭化	(水素力)	<u> </u>				1-m	0					-		
44	燃	可燃性	液化大然力		<u>à)</u>				t	0							-
45	科	大怒カス	その他可燃	<u>消生天然</u>	ガス				+m	3286					1072	2214	4 1
46			息料反						t	0							-
47		石灰	一般反						t	0				_			-
48			無煙灰						t	0				_			-
49		白灰コーク	×						t	0				4	-		
50		コールター	ル ボコ						t Tul	0	_				-		
52																	
. S.	 ↓ はしめに 使用量_1,2 使用量_3 車刀会社 外部供給 単1 単2 戦3 単4 … (+) : ↓ 																
準備完	7 1	a												─		+ 93	3%

① 原油換算500kL以上の全事業所の 名称を入力してください。 (30行目 N列以降) ② 市内事業所のエネルギー使用量を入 力してください。 原油換算500kL以上はそれぞれ入力 原油換算500kL未満はまとめて入力 ※その他燃料の排出係数等の設定は『係数』 シートで行ってください。 ※排出原単位(寄与度)を設定する場合は、 原単位の種類ごとにグループ化した合計値 を入力してください。





■電気の使用量の入力 『使用量_1,2』シート及び 『電力会社』シート







■外部供給量の入力 『外部供給』シート

⊟ 5							計画	∕報告_R5_	v02.xls	k - Excel						8	Ŧ	-// 0	x c
ファイル	ホーム	挿入	ページレイアウト	数式	データ お	交閲 表示	開発	ヘルプ	ACRO	bat ζ	? 値	可をしますか							
H24			• : ×	√ f _x															¥
12 A	В	С	D E	F	G	H I	J	К	ĻL	M		N	0	P	Q	R	S	Т	U
1	二酸	8化炭素	排出量算定表	是(1号、2	2号用)エ	ネルギー	外部供給	量入力:	表			2023年	+度提出用	(2022年度美	.積1值) ver.02	6			
16							(注意)	60 8 .00	+ ======			er wersen das	阳小田+7	Ab 1 a 74466		7.7 - 1 7	·/+*-++ .		
17	エネル	ギー集計対	象の事業所数		4 4	1	【入力方法】	目り土脉	に烈、車	ス寺で上一	512-1	一百理個	酸の兼ねる	加入个供加	した場合の		VEC 10		
19	原油換	算エネルギー値	ℓ用量が500kl 以上の大	規模事業所数	2 4	ŧ	前年度に自ら	生成した「	別または	「電気」を	다가기	レギー管理	権限の異な	こる他人へ供	給した際の	当該供給量	しこかかる風	原燃料の量	纪入
24							してくたきい。 ※自家発電し	た電気を外れ	鄂に供給し	た場合は	「外	部供給した	電力量」を「	発電に使用し	」た燃料の量	しに換算し	て各燃料の構	劉こ入力	
25	1 7	マルギ、	从邨伳纻昰	U.		L		_						_					
25	<u>.</u> -		川即庆中里					60 ⁰											
29	29 原油換算500(1未満の事業所名称) (資源市内合) (公開告の原目体主体の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の主要の																		
							横浜市内合計	(※複数の)	東単位を使	用する場合	lt.	ΔTtB	BTH	事業所名を	事業所名を	事業所名を	事業所名を	事業所名を	事業所名:
30								原単位の植 給量合	調測に列 計を入力し	を変えて外す 、てください)	191 <u>円</u>	~1.4	DT 4	入力3	入力4	入力5	入力6	入力7	入力8
31			エネルギーの	D種類		単位	し自動計算				_	大規模事	業所のコ	ロネルギー	外部供給	量			
32		原油のうち	・ノセートを味く。) コンデンセート(NGL))		kL kl		1										-	
34		揮発油(ガ)	リン)			kL													
35		ナフサ				kL		-		2	5								10 10
36		灯油				kL	-	-			- 5		0		10 1		10 I	3	10
37		(1)				KL kl		1					5					3	
30		^{円里/田} B•C重油				kL													
40		石油アスフ	ァルト			t													1
41		石油コーク	ス			t		-			5							3	10 10
42		石油ガス	液化石油ガス(LPG))		t		2		0	- 5		÷		10 1		8 I	3	10 11
43		可燃性	12)油糸灰IL水系刀。 液化主然ガス(ING	<u> </u>		+ m	-	5 			3							3	- <u></u>
45	熬	天然ガス	その他可燃性天然	, ガス		Ŧm		i.											
46	科		原料炭			t					-								
47		石炭	一般炭			t		-			3							-	10 2
48			無煙炭 			t		5		0	3		5		- 16 - 15			3	10 10
49		石灰コーク.				t +	-			-								3	
00							140 45	1 484	100			1 48 4 1	170			-		-	-
1 A 🕨		はしめに	使用量_1,2	使用量_3	3 电刀会社	住 外部的	瑞 報1	報2	報3	報4	戦5	報6	報7	at1 at2	2 (Ð I 🖣			•
準備完了																I 🗉		+	+ 85%

『外部供給』シートは、<u>他者へのエネル</u> <u>ギー供給が「有り」の場合のみ入力が</u> 必要です。

入力は『使用量_1.2』シートと同様に 原油換算500kL以上はそれぞれ 原油換算500kL未満はまとめて 入力してください。





■原単位(事業者全体で統一の原単位を使用する)の入力 『使用量_1,2』シート

	横浜市内 500 k 合計 事				未満の 業所		500 k l 以 事業所	く上の 所	
					~		1		7
原油換算エネルギー使用量(kL)				2,583	1,949	0	0	634	2
二酸化炭素排出量(tco2)		基礎		4660	3,517	0	0	1,143	•
		調整後		4.660	3,517	0	0	1,143	
排出量原単位の指標		名称 生产	全教 しんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しんしょう しんしょ しんしょ	土i	生産数			生産数	ŀ
	\Box	量		1	150			10	
		単位(★)	t	t	t			t	
排出量原単位(tCO2/★)		基礎(A)	3	29.13	23.4467			114.3	
			J						

排出原単位(統一)を設定する 場合のみ入力してください。

- ① 黄色セルに排出原単位の「名
 . 称」、「単位」を入力してください。CO2排出量と密接な関係
 . がある量を選んでください。
 - ② 緑色セルに①の入力内容が反映されます。
 黄色セルに排出原単位の「量」
 を入力してください。
 (例では150,10)
 - ③ 全体の排出原単位が自動計算 されます。 (例では29.13)





■原単位(原単位の寄与度の合計から求める)の入力 『使用量_1,2』シート

			横浜市内 合計	50	0 k l 未満の 事業所)	500 k l 均 事業	以上(所
								7
	原油換算エネルギー使用量(kL)		2,583	1,186	763	0	634	
1	L酸化炭素排出量(tco2)	基礎	4661	2,146	1,372	0	1,143	
	D	調整後	4,661	2,146	1,372	0	1,143	•
	排出量原単位の指標	名 称		生産数	従業員数		差べ床面積	
		<u>量</u>		150	100		500	•
	8	単位(★)	8 <u>7</u> 8	t			m²	
	排出量原単位(tCO2/★)	基礎(A)		14.3067	13.72		2.286	•
Ć	2 民与度の合計から求めた原単位を使用	して <mark>報告書</mark> を作成する	5場合		·			
	基準(2021)年度原単位(tCO2/★)	基礎(B)	10	14	15		3	
	基礎排出量構成比	(R)	100.0%	46.0%	29.4%		24.5%	
	実施年度削減率 (C=(1−A/B)×100)[%]	(0)		-2%	9%		24%	
	実施年度削減率(構成比重みづけ) (Σ(R×C)×100)[%]	寄与度の合計の場合	7.34	-1%	3%		6%	
		7		-				8

排出原単位(寄与度)を設定する 場合のみ入力してください。

- ① 黄色セルに排出原単位の「名 称」、「量」、「単位」を入力して ください。
 - ② 黄色セルに基準年度の寄与 度の算定に用いた排出原単 位を入力してください。 (例では、14, 15, 3)
 - ③ 構成比で重みづけされた実施年度削減率が自動計算されます。 (例では7.34)





■原単位設定の選択と車両台数の入力『使用量_3』シート

⊟	ئ ہ	≷~ ∓					計画/	∕報告_R5	_v02.xlsx	- Excel	1		k		8			D	×
ファイル	· ホー	ム挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示	開発	ヘルプ	ACROB	AT	Q f	可をしますか				1112		\square
W47			• : ×	 ✓ f_x 															×
A	вс	D	E F	G	н і	J	K		M N	0	P	Q	R S	Т	υV	W	x	y z	AA 🔺
1	二酸化	上炭素排	非出量算定著	表(3号	用) 耳	巨両台) 数及	びエネ	・ルギ・	- 使用	量入	、力	表						
28														20	25年度提	出用(2024年度	(実績値)	
\bigcirc	<u>4</u>	ж IFI HX																	
\mathbf{U}	(1) 総	活票での <u>)</u>	泉単位設定 🧲			計画作成 山本 溜切	時に原う	単位目標	を設定し	た場合は	、「設気 T 、 t M 、	定あ							
33		2. 定 悪し 9 定 あり			- 2	合は「設別	してくだ 定無し」を	ioい。(a を選択しう	「画時に訪 てください)	な正をして '。 ・	61/861	1.65							
36	0																		
	2 横注	兵市内に	おける2024	年度の	車両も	汝													
(2)													—						
39		2	2023年度								202	24年	·皮						
42		年度末	雨有車両					а	継続さ	à数		走	行あり①	走	行なし		年度末	所有車両	
43			111 台					→	100	j 台		1	106 台	<u> </u>	0 台		11	4 台	
45	は ↓ ↓	昨年度提出し と段)に記載し	た計画書等の第1面 た台数 (新規事業					b	減車台	敌		走	行あり②	走	行なし		↑今年度 画書等の	提出する計 第1面に表	
46 47	浜 者	の場合を除く。	.)							5 台			<mark>5</mark> 台		0 台		示される と	쵌(a+c)	
48	中内				_	新規台	敖	С	維続台	〉 数		走	行あり③	走	行なし		-		
49 50					_	10) 台		1	3 台			<mark>8</mark> 台	<u> </u>	0 台		走行	台数	
51								d	減車台	à数		走	行あり④	走	行なし		12	20 台	
52 24									1	2 台			1 台	<u> </u>	1 台		(U+Q)	+(3)+(4))	
4		140%	使用量_1,2	使用里	无力		A pr (# %		#R0	#R0	±₽.4	ŧRc	+RC						
準備完了	7 🛍								1 1992 J	3636	1992				1 巴		-	+ 1	.00%

① 原単位の設定有無を選択してくだ さい。

・設定ありの場合は、すでに提出してい る計画書と同じ指標としてください。

※次期計画を作成する場合で、指標を前 計画と別のものに変更する場合は、次期 計画用に新たにファイルをダウンロード してください。

②「年度末所有車両」台数は、昨年度 情報が自動表示されます。 黄色セルに増減台数、走行台数を それぞれ入力してください。





■エネルギー使用量の入力『使用量_3』シート

З	2024年度に走行した車両の走行	距離			1 2024年	E度に走行し	た車両	iの「走行		
1	<u>意:2024年度中に滅車(廃止)した車両(走行</u> 燃料の種類]あり)を含みます。 走行台数(台/年)	走行距離 (km/年) (a)	燃料補給量 (/年) _(b)		燃費 (km/) (a÷b)		走行距離」、	「燃料社	₩141
ガソ	リン	500	11,100,000	2,500,000	L	4.4400 +	[[] を燃料り	ノ裡親ことに	まとの	(入月
軽油		500	10,000,000	2,500,000	L	4.0000 +	^{「」」} してくだ	さい		
天然	、ガス (ジ列)(登録書号_メニュー)は 『電力会社』シートより購入先電	85	1,500,000	150,000	m	10.0000 א				
LPG	カ会社の「登録番号+メニュー」	310	5,000,000	1,000,000	L	5.0000 4	m/L			
水素										
	<mark>登録番号+メ</mark> ^{₩N/A} 基礎 調整後			昼間	kWh					
				夜間	kWh					
				<u> </u>	kWh					
-	#N/A #N/A			夜间 屋間	kWh		ションシェレーフィー	+»		
電気	登録番号+メ 至啶 詞 里復 ニュー #N/A #N/A			<u>本間</u>	kWh	/ 【早1	山に注思してく	にこい!】		
				K間	kWh	+-1				
				夜間	kWh	-				
	^{登録委号+★} ^{#N/A} 基礎 調整後			昼間	kWh		を考え	<u> </u>	1	
	ニュー #N/A #N/A			夜間	kWh		燃料の裡親	単12		
	·····································	1,395	27,600,000		/					
	走行台数(検算用)	1,395	←検算用の値と走行台数の合言	+値が一致			カソリン	L		
							# 又 ご 十			
							腔 油			
							天然ガス	m3		
						_				
							I PG			
										15





■電気の使用量の入力 『使用量 3』シート及び 『電力会社』シート



- 『電力会社』シートで、購入先電力会 (1)社(メニューがある場合はメニュー 別)の「登録番号+メニュー」を検索 してコピーしてください。
 - ①でコピーした文字列を『使用量 3』 シート中の「登録番号+メニュー」欄 に貼り付けてください。
 - 電力会社ごとに走行台数、走行距離、 電気の使用量を入力してください。 0.000535

0.000518

0.000401

0.000482

0.000000

0.000000

0.000200

0.000220

0.000300

0.000349

0.000370

0.000408

0.000000

0.000428

0.000000

0.000200

.....

報1 報2

報3

色フィルター(I)

検索

軺 ...

テキスト フィルター(E)

● (すべて選択)

· ✔(株)CWS

✓(株)F-Power

☑(株)G-Power

(株)CDエナジーダイレクト

(株)CHIBAむつざわエナジー

(株) J - POWERサプライアンドト、

(+) : (+)

OK ++12/17/1

0.000262

0.000475

0.000405

0.000405

0.000405

0.000405

0.000405

0.000405

0.000405

0.000405

0.000431

0.000431

0.000451

0.000451



■原単位の入力 『使用量_3』シート

4 2024年度の二	酸化炭素排出量等						
	二酸化炭素 合計量(tC	排出の 302)	1	非出量原	したの指摘 た行 距離以外 を用する場合	票 との原単位指標を は右欄に入力↓	排出量原単位 (tCO2/★)
	基礎	調整後	走行	距離			基礎
			量	単位★	量	単位★	
横浜市内	14264.5	14,265	27,600	fkm		_	0.5168
	1	ŀ			原半田	2	3

- ① 入力した燃料の使用量から二酸化炭素排出の合計量及び「走行距離」を指標とした排出原単位が自動計算されます。
 - ②「走行距離」以外の指標を排出原単位として設定する場合は、黄色セルに「名称」、「量」、「単位」を入力してください。

③ 排出原単位が自動計算されます。





■各シートの説明

シート名	項目	記入要領
報1	1 事業者概要 2 計画期間 3 公表方法	•提出日を記入 •事業者概要等は、変更がある場合上書き
報2	4 排出の抑制に係る目標等	•目標の達成状況を記入
報3	5 クレジットの取組状況 6 再エネ利用設備の稼働状況 7 次世代自動車の導入状況	 クレジット及び再エネ利用設備の状況を記入(導入がなければ記入不要) 次世代自動車の導入台数(=増減数)及び保有台数を記入。 増減がない場合は「0(ゼロ)」を記入
報4	8 重点対策	•各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
報5	9 自主的な対策	 ・設備更新、運用改善、低炭素電気への切替え等の対策による 削減量を記入(導入がなければ記入不要)
報6	10 その他取組 11 特記事項	 廃棄物削減の取組や環境教育等の取組状況を記入 (取組がなければ記入不要)
報7	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	•事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標値はすでに提出した計画書を参照



■『報1』シート

E	35				k 1	†画∕報告	_R5_v02	.xlsx - Ex	cel		8	五	- 0	×
יר	イル	<u></u> ₩−Δ	挿入	ページ レイアウ	▶ 数式	データ	校閲	表示	開発	へいプ	ACROBAT	Q	操作アシス	F
D	10			• : ×	√ fs	c								
1	A 細則第	B 38号様	C 試(第2	E 2条第49号)	F	G		Н	I	J	K	L	M	ч с
2 3	(#8#)	Ŧ宗/			地球温	晶暖化刘	対策実	施状況	報告書	_ ∎	争業者		1398233	<u> </u>
4												左	Ħ	•
5	(提)	出先)										+	л	
7	横浜	市長						住所名	伸奈川県	横浜市中	中区本町6丁	目 50番	地の10	
8	-							氏名青	黄浜市 市長 山	中 竹春				
9								(法人の:	場合は、	、名称)	及び代表者	の氏	名)	
11	横 満 おりま	兵市生 提出し	活環境の ます。	の保全等に関	する条例	(以下)	「条例」	という。) 第1	44条第	2項の規定	によ	り、次の)	٤
12 13	1 1	地球温	暖化対象	(意事業者等の)	概要									
14 15	事 業 及び	者 (代表者	D 名 称 fの氏名	横浜市 市長 山中 ヤ	「春									
16	主 た の	る 引 所	■ 業 所 在 地	神奈川県横浜	市中区本町	6丁目50種	番地の10)						
17	主た	る事業	の業種	大分類	S 公務	(他に分	類され	るものを	:除く)					
18				中分類	98地;	5公務								
19				● 条例施行	疗規則第89€	条第1項	第1号該	⁸ 当事業者						
	• •		はじめに	使用量_1,2	使用量_	.3 電力]会社	外部供給	報1	報2	i ⊕	:	1	
准備	玩了	THE .							H		<u>ــــ الل</u>		+	100%

1.2号 3号

・<mark>黄色セル</mark>を記入してください。

• 緑色セル は昨年度情報を自動表示しています。

『はじめに』シートで入力した事業者IDに応じ、 昨年度情報を自動表示しています。変更がある場 合は、上書き修正してください。

ただし、提出者情報は、地球温暖化対策事業者等の概要欄の昨年度情報を自動表示しています。





■『報2』シート 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

細則第38号様式(第2条第49号 (総括票)

4	の 1	温室効り	いしち しちちょう しちし しちし しちし しちし しちし しちし しちし しちし しちし しんし しん	スの排出の	抑制に係る目れ	標等の状	、況(第14	き及び 第	幕2号該当事業	(者)	_
				特定派	1室効果ガス排出	量	削 減	率	原	単 位	
基	準	年	度	基礎	2, 025	t-CO ₂		/	11.89	t-CO₂/ 手t	
	(20	21 年度)		調整後	2, 427	t-CO ₂					
目	標	年	度	基礎	2, 025	t-CO ₂	0.0	%	11.53	t-CO₂/ 手t	
	(20	24 年度)		調整後	2, 427	t-CO ₂	0.0	%	削減率	3.0 %	
第	_	年	度	基礎	1, 838	t-CO ₂	9.2	%	10.70	t-CO2/ 手t	
	(20	22 年度)		調整後	2, 053	t-CO ₂	15.4	%	削減率	10.0 %	
第	=	年	度	基礎	1, 337	t-CO ₂	34.0	%	7.43	t-CO₂/ 手t	
L	(20	23 年度)		調整後	2, 138	t-CO ₂	11.9	%	削減率	37.5 %	
第	Ξ	年	度	基礎		t-CO ₂		%		t-C0 ₂ /	
	(20	24 年度)		調整後		t-CO ₂		%	削減率	%	
				達成状況	●目標を達	成できた	O お:	おむね目	標通り 🔿	目標を達成できな かった	
目達	標 の 成 状	進捗及況の説	び 明		省工ネ取組		0	あり	0	なし	
	(20)	23 年度)	り 説 明 度)	# D	事業活動量	0	増	O III	ぼ変動無し	○ 減	
				* [4]	自由記述欄						

・<mark>黄色セル</mark>を記入してください。

1,2号該当事業者は4の1に、3号該当事業者は4の2に 目標の達成状況等を記入してください。

• 白色セル は自動表示のため記入不要です。

- 青枠内:過年度の報告データが自動表示されます

赤枠内(4の1):『使用量_1,2』シートで算定した 2024年度排出量データが自動表示されます

/ 緑枠内(4の2):『使用量_3』シートで算定した
2024年度の排出量データが自動表示されます

『報3』~『報6』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している 記入例を参照してください。 ■記入例URL :

https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r7_application_guide.html 20

の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)

					特定派	【室効果ガス排出	量	削 減	率	原	単 位		i.
基		準	年	度	基礎	1,576	t-CO ₂		/	15.53	t-C0₂/ f	t	
	(2021	年度)		調整後	1,576	t-CO ₂						
目		標	年	度	基礎	1,576	t-CO ₂	0.0	%	15.06	t-CO ₂ / 千	t	
	(2024	年度)		調整後	1,576	t-CO ₂	0.0	%	削減 率	3.0	%	
第		_	年	度	基礎	1,064	t-CO ₂	32.5	%	16.44	t-C0₂/ f	t	
	(2022	年度)		調整後	1,064	t-CO ₂	32.5	%	削減率	▲ 5.9	%	
第		=	年	度	基礎	1,600	t-CO ₂	▲ 1.5	%	22.85	t-CO ₂ / 千	t	
	(2023	年度)		調整後	1,600	t-CO ₂	▲ 1.5	%	削減 率	▲ 47.2	%	ſ
第		Ξ	年	度	基礎		t-CO ₂		%		t-CO ₂ /		
	(2024	年度)		調整後		t-CO ₂		%	削減率		%	l
					達成状況	●目標を達	成できた	O お:	おむね目	標通り 🔾	目標を達成で かった	できな	
目達	標成	のえ	售 捗 及 兄 の 説	び明		省工ネ取組		O đ	59	0	なし		l
	(2023	年度)		797 112	事業活動量	0	增) EI	ぼ変動無し	○ 減		l
					* 14	自由記述欄							





- ・<mark>黄色セル</mark>を記入してください。
 - 白色セルは自動表示のため記入不要です。

電気の非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」は、 以下の計算式により計算してください。

電気の非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」 = 非化石証書の量(kWh)×全国平均係数(t-CO₂/kWh)×補正率

全国平均係数(t-CO₂/kWh)	0.000423
FIT補正率	1.02
非FIT補正率	1.02

ただし、電気の非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当 量」は、電気の使用に伴う排出量(提出様式ファイルの 使用量1,2シートのJ112セルの値)が上限です。

『報3』~『報6』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している 記入例を参照してください。 ■記入例URL:

https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r7_application_guide.html 21

1 2 3	A 細則第 (総計	B C 38号様式(第2条 舌栗)	D E 第49号)	F G	H I	J K	L	M N	0	PZAAAABAC	AD
4	5 ク 	レジットに関する	取組状況	特定派	『漫家効果ガス削減損当量						
5	番号	215	リットの名称		[t-C0g]		オフも	(ット対映範囲			
6	1										
7	2										
8	3										
9	4										
10	5										
11											
12 13	<u>6</u> 再	生可能エネルギー	利用設備の稼働状	况	远供绘图		23	a ¥ n z k	11 Ja		
14	82	an un un es	0)199.998	*** **** **** ************************		DC HH US BP V/ III HE		2.5.0000 10			
15	1			牛皮							
16	2			牛皮							
17	•			牛皮							
18				+ 点 存 曲							
19	-			+&							
20 21	<u>7次</u>	世代自動車の導入	状況								
22	次世	代自動車の種別	電氛自動車		プラグイン イブリッド車	燃料電池自動	力車	송計			
23	2	【入台数【台】	0		0	0		0		「導入台数」は、 (増減数)=(新規台数)∼(廃止台数)	
24	係	有台數[台]	0		0	0		0		を記入してくたさい。	
25											





■『報7』シート 個別票

⊟ ५ × ⊲	⇒ - ≠ ≣	†画/報告_R5_	v02.xlsx -	Excel		8	ħ	- 0	×
ファイル ホーム	挿入 ページ	レイアウト数コ	む データ 🤅	校閲表示	開発	へルプ AC	ROBAT	♀ 操作アシス	\Box
P12		• : ×	√ f ₃	¢					~
A 日 1 加加加加多多物味 加速 2 通知加減 3	C D E 2余類49号) 地球	F G	H] J	K L	MN	0 10 3) 3	Ę1	P.	
 3 1 事業所等の構 事 乗 唐 等 の 	1要 名 称 aī场					_			
5 事業医学の医 7	在地			.					
8 <u>8</u> 味 西 第 8 エネルギー	• ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	原油換算エネ ルギー使用量	2.354 kl	事業所等の 医 分					
9 管理推移 10 以下H			പക്ഷം						
11	加州王事業内の	, 1 , 2 , 1 0 0 0 0	ужа. ам	г-јав (9 «					
12									
13 2 遙至効果方7	(の部田の即制に) 伊進塩塩効果	<u>める目標等の状況</u> ガス期出 し正確)		原単位					
15 美 航 年 8 15 (2022年度)	2 4.63	36 t-	∞.		t-00./				
17 18 日根の進む及び 19 違法状況の親明 (2022 年度)	r: 3						原油換算工 未満で、計 は、次の「暫 グル−ブ13 ● 記 ○ 記	ネルギー使用量が15 回書で目標設定をした 3.入する」を選んでくだ 1.入する	ooki 場合 さい。
21 22 23 24 25									
25 25 27 1御別第08 争様式 1第: 27 1御別第) 28	◎ 承第49号) 地 球	温暖化対策実加	1〕状況報告書	l.		個別界	12		
· · ·	電力会社	外部供給	報1 報	2 報3	報4	報5		: •	
準備完了 闘						D 2		+ +	60%

個別票は、原油換算エネルギー使用量が500kL以 上の事業所の数作成してください。

・<mark>黄色セル</mark>を記入してください。

『使用量_1,2』シートの入力情報から、作成が必要な 事業所の分、記入欄がアクティブになります。

 ・緑色セルは『使用量_1,2』シートのデータを自動表示
 しています

変更がある場合は上書き修正してください。

・ 白色セル は自動表示のため記入不要です。

※個別票は縦に配列しており、最大40事業所分の記載 が可能です。





■『提』シート

日 🕈 - 🗟 - ロ X
ファイネ ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ ACROBAT Q 操作アシラ 💭
A B C D E F G H I J K L M N O F▲ 1 細則第37号様式の2(第2条第48号の2)
2 3
4 地球温暖化対策計画書提出書
7 (提出先) 2024 年 7月 20日
横浜市長
。 住所 神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10
3 横浜市
10 氏名 市長 山中 竹春
12 横近市生活環境の保全等に関する条例第144条第1項及び第2項の相応により
13 13 13 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14
16
17
★ ▶ … 計1 計2 計3 計4 計5 以降入力不要→ 提 係然 ④ : ▲ ↓ ▶
準備完了 副 囲 回 四

報告書等に記載いただいた情報から自動作成いたしますので、記入の必要はありません。





■『係数』シート

日 り ~	<2. ≤	2	024youshil	ki_ver05b	o_0131.xls>	< - Excel		Q		野呂 正司	8	Ŧ	-		×
ファイル	ホーム 挿	入 ページ !	ノイアウト	数式	データ	校閲	表示	開発	NU	プ Ad	crobat	ž		l 并有	ī
C32		$\times \sqrt{f_x}$	原油	(コンラ	^ピ ンセート	·を除く。	,)								*
A	В	С	D	E		F	G	н		Ι		J	к	L	
1 排出1	係数の認	设定													
2															
3 1 基	礎情報							X	《標準	動設定	こから!	変更す	る場合		
4	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	まし 両有不図	V#1 티자 린		≇∽∼≣∿∽⊸⊾		+ 7 +8 ^ \								
5 (1)排出旅费	又と、電気のチ	も熟重の記	፬正\傷4	単い設定な	いつ変更い	9 る 場合)								
30	エネルニ	ギーの種類					単位語	発熱量				C	202排出係	次	
31								単位	4	分母単位	i ł	ŧæ	調整後	単位	
32		原油(コン	デンセート	を除く。)		38.2	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.0187</td><td>0.0187</td><td>10/GJ</td><td></td></l<>	kL	0	.0187	0.0187	10/GJ	
33		原油のうち	5コンデン:	セート(ト	IGL)		35.3	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.0184</td><td>0.0184</td><td>10/GJ</td><td></td></l<>	kL	0	.0184	0.0184	10/GJ	
34		揮発油(力	(ソリン)				34.6	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.0183</td><td>0.0183</td><td>ະດ/ຣມ</td><td></td></l<>	kL	0	.0183	0.0183	ະດ/ຣມ	
35		ナフサ					33.6	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.0182</td><td>0.0182</td><td>ະດ/ຣມ</td><td>1</td></l<>	kL	0	.0182	0.0182	ະດ/ຣມ	1
36		灯油					36.7	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.01 85</td><td>0.0185</td><td>ະດ/ຣມ</td><td></td></l<>	kL	0	.01 85	0.0185	ະດ/ຣມ	
37		軽油					37.7	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.0187</td><td>0.0187</td><td>ະດ/ຣມ</td><td></td></l<>	kL	0	.0187	0.0187	ະດ/ຣມ	
38		A重油					39.1	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.0189</td><td>0.0189</td><td>ະດ/ຣມ</td><td></td></l<>	kL	0	.0189	0.0189	ະດ/ຣມ	
39		B·C重油					41.9	GJ/	<l< td=""><td>kL</td><td>0</td><td>.01 95</td><td>0.0195</td><td>ະດ/ຣມ</td><td>1</td></l<>	kL	0	.01 95	0.0195	ະດ/ຣມ	1
40		石油アスプ	ファルト				40.9	GJ/	ťt	t	0	.0208	0.0208	ະດ/ຣມ	
41		石油コーク	7ス				29.9	GJ/	ťt	t	0	.0254	0.0254	ະດ/ຣມ	
42		万油ガス	液化石油	İガス(L	.PG)		50.8	GJ/	ťt	t	0	.01 61	0.01.61	10/GJ	
43			石油系员	炭化水素	ガス		44.9	GJ/Ŧ	m	Ŧm	0	.01 42	0.01 42	ະດ/ຣມ	1
44	燃	可燃性	液化天然	∜ガス(L	NG)		54.6	GJ/	ťt	t	0	.01 35	0.0135	ະດ/ຣມ	
45	科	天然ガス	その他可	J燃性天	然ガス		43.5	GJ/Ŧ	m	Ŧm	0	.01 39	0.0139	ະດ/ຣມ	
46							29.0	GJ/	't	t	0	.0245	0.0245	ະດ/ຣມ	
47		石炭			25.7	GJ/	ťt	t	0	.0247	0.0247	ະດ/ຣມ			
10	+71.0	+8-7	無 煙 炭	=10			269	G.I	+	+		0255	0.0255	6/60	1
···· 報6 報/ 計1 計2 計3 計4 計5 以降人刀不要→ 提 _ 係数 _ (+) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·															
準備完了 🛽	ō										巴		1	- + 100%	6

燃料などの排出係数等を変更する場合や電気 の発熱量を標準設定から変更する場合のみ、 使用します (2025年度用に更新されていますのでご注意ください。)

【参考】計画書の作成について

(2025年度の全事業者)

改正省エネ法に対応

横浜市地球温暖化対策計画書制度の改正し、非化石エネルギーを報告対象とします。 2025年度より**非化石エネルギーを含めた計画書を作成・提出**いただきます。

令和7年度(2025年度)~⇒改正省エネ法にあわせて、非化石エネルギーも報告対象

【参考】非化石エネルギー



改正の詳細につきましては、 2025年2月26日に開催した温暖化対策計画書制度の見直しに係る事業者説明会の資料 「横浜市地球温暖化対策計画書制度の改正について」 をご覧ください。(横浜市地球温暖化対策計画書制度WEBサイトに掲載)

25

手順2:作成したデータ等を電子申請システムで提出

■作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。 対象:報告書ファイル、計画書ファイル

【提出先】 横浜市電子申請・届出システム <u>https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/</u> <u>residents/procedures/apply/f36a9155-55a0-</u> <u>4517-8e6c-04277908ad9d/start</u>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課 計画書制度担当 電話番号:045-671-4224

電子メール:da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

副本が必要な方は、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送(所定額の切手を貼った返信用封筒を同封)してください。

間違えやすいポイント





使用量3シート

排出量原単位の設定についてのオプションボタンが選択されていないことが多々あります。 それに伴って計画作成時に設定をした排出量原単位が設定されていない場合が多く見受 けられました。(計画時に設定をしていない場合でも「設定無し」を選択してください)

間違えやすいポイント



A	В	C D	E	F	G	Н	Ι	J	
64		C列(登録番号 『電力会社』 二 ュー」をコピ 一般的な契約 く電力メニュー							
35		容親報문+√□	#N/A	基礎	調整後	昼間	∓kWh	0	
66		立が留う・ハニュ	#117 11	#N/A	#N∕A	夜間	∓kWh	0	
67		<u>恐得来早</u> —	#N/A	基礎	調整後	昼間	∓kWh	0	
68		豆虾蛋子 人二二	#117 FI	#N/A	#N∕A	夜間	∓kWh	0	
69		登録番号+メニュー 登録番号+メニュー	#11/0	基礎	調整後	昼間	∓kWh	•	
70			豆疹番方+メニュー	#117 6	#N/A	#N/A	夜間	∓kWh	0
71			#NI/A	基礎	調整後	昼間	∓kWh	0	
72			#N/ A	#N∕A	#N∕A	夜間	fkWh	0	
73		<u> ※</u> 伊弗무고,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		基礎	調整後	昼間	∓kWh	0	
74		豆が曲ちて入二ユー	#INZ M	#N/A	#N∕A	夜間	∓kWh	0	

同じ電力会社でも電力メニュー は多岐にわたります。一般的な 契約プランの場合はメニューの 後に<mark>残差</mark>とつく電力メニューを 選択してください。

CO2の排出が0の電気メニュー
 (調整後排出係数が0の電気メニュー)を選択している場合が
 多くありました。

間違えやすいポイント

『報1』シート 『計1』シート



電子申請システムで提出する日付を入力してください。

間違えやすいポイント





「達成状況」及び「要因」について、該当する項目を選択してください。

間違えやすいポイント



	A B C	D E F	G H I	J K L	M N O F							
21	7 次世代自動車の導入状況											
22	次世代自動車の種別	電気自動車	プラグイン ハイブリッド車	燃料電池自動車	合計							
23	導入台数[台]	0	0	0	0							
24	保有台数[台]	0	0	0	0							
25		•		•								

次世代自動車の「導入台数」が0だとしても0の記入をお願いします。

また、「導入台数」は、正味の導入台数で

(導入台数)={(新規台数)+(転入台数)}-{(廃止台数)+(転出台数)} を記入してください。

間違えやすいポイント





2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況について 原単位の記入欄、目標の進捗及び達成状況の説明の記入欄については、計画作成時に 目標を設定していない場合は記入ができません。